

清川町支え愛の会

～令和7年7月28日(月) 訪問～ 【豊後大野市】



清川町支え愛の会は、「一人暮らしになったとしても、地域から孤独な高齢者を作らない」というコンセプトのもと活動を開始しました。会のメンバーはたとえ小さなことでも、地域の中で自分にできることを実践しよう、という「ハチドリのひとしずく」の精神を心に留めて活動しています。

居場所づくりの活動として、ミニデイサービスやカフェを開催しており、交通手段を持たない参加者については、会のメンバーが送迎支援を行っています。その際、社会福祉協議会の車両を空き時間に使わせてもらうなど、各種関係機関と連携した取組が行われています。

また、草刈りなどの日常の困りごとを有償でサポートする「暮らしのサポート事業」にも取り組んでおり、開始から短期間で多くの利用があるなど、地域の支え合いの仕組みづくりが着実に進められています。

懇談では、この他、小規模水道の整備や空き家対策、公営住宅の活用、地域での女性活躍など、多岐にわたる地域課題について意見交換を行いました。

これまでの活動に対し深く敬意を表するとともに、今後もこの取組を続けていただきたいとお伝えしました。

懇 談 風 景



関連分野における県の施策 (令和8年度)

☆事業名：持続可能な地域づくり推進事業

事業概要：住民の希望を叶え、将来にわたり持続可能な地域づくりを実現するため、地域コミュニティ組織が行う地域課題の解決や移動・買い物等の生活支援に要する経費に対し市町村と連携して助成するほか、新たな組織の設立や再編・連携を支援

予算額：1億2,404万円（うち高齢化集落等支援事業費補助金 7,800万円）